

# 第1回 史跡明石城跡整備基本計画策定委員会

## 議事概要

1. 日時 令和3年12月21日(火)14:00～17:00
2. 場所 史跡明石城跡現地 (14:00～15:25)  
明石市立文化博物館2階大会議室 (15:35～17:00)
3. 出席者 岩崎委員、北垣委員、高瀬委員、麓委員、増淵委員、三浦委員、宮本委員  
(欠席委員: 崎野委員、林委員)

### 4. 議事及び主な内容

#### (1) 委員長、副委員長選任

委員長を増淵委員、副委員長を高瀬委員に選出

#### (2) 県立明石公園の概要について

意見無し

#### (3) 史跡明石城跡の概要について

意見無し

#### (4) 史跡明石城跡整備基本計画策定の経緯と目的について

##### 【委員】

今日、現地を見学させて貰った印象では、史跡と公園について、どこで折り合いをつけるか、ということが課題だと思う。今は、公園的な性格が前面に出ている。この委員会には、文化財を専門とする委員が多いが、この人選からしても、もう少し史跡的な要素を前面に出してほしいといった話が出てくるのではないかと思う。

##### 【事務局】

そこは、事務局としても難しいと感じている所で、史跡としての面も大事であるし、公園としての面も大事である。今は、史跡の解説板などが非常に少なく、明石城の文化財を紹介する機能が非常に弱いと考えている。まずは、すぐに出来る所から重点的に取り組んでいきたいと考えている。また、史跡と公園のバランスが取れるように検討していきたいと思う。

##### 【委員】

私も、史跡と公園との折り合いがついていない中での話だなと感じた。もう少し史跡というものの掘り下げをされる必要があると思う。そうでないと、遊び場としての公園という面が突出してしまうのではないか。史跡の部分がもう少し深まってこない、史跡と公園との折り合いをつけるのは難しいのではないかと思う。

##### 【委員】

他の委員からも類似の意見が出てくると思う。この問題は、この会議の中で、具体的な問題を通して、何度も出てくると思うので、事務局には受けとめていただきたいと思う。

##### 【委員】

史跡と公園の折り合いという点は難しい課題だと感じている。歴史ある明石公園を残していきたいと思っているが、残していくためには、収益をあげて、それを維持管理のために投入していくという視点も必要だと思う。

公園という部分と史跡の部分のバランスをとっていく必要がある。民間活用に関する委員会も立ち上がると聞いているが、この委員会で史跡をどう残していくかについての方針を決めたとしても、それを民間事業者の側に伝えるパイプが必要ではないかと思う。

明石公園を活用している側から言うと、明石公園は夜になると暗く、危ない場所というイメージがあったが、樹木が伐採されて、ライトアップも行われるようになって、大分良くなったと感じている。しかし、現地視察では、石垣の劣化という話が出ていて、そういう観点もあるのかと気づいた。もう一つの問題として、気候変動の問題があり、最近では、明石公園でのイベントの際にも豪雨に悩まされることがある。そうした気候変動の問題も踏まえて計画を検討していく必要があると思う。

#### (5) 史跡明石城跡整備基本計画の検討項目とスケジュールについて

##### 【委員】

Park-PFI の場合、都市公園の中のある区画を区切って、その中の特定の施設と周辺を一体として整備するということだが、明石公園では、西館とその前のこどもの広場の空間を区切って、一体的に整備するというイメージか。

##### 【事務局】

その通りである。西館を活用して、そこでの収益の一部を活用して、こども広場の整備をして貰えればと考えているが、そういう事業者がいるかどうかを、まず聞いてみる必要がある。いきなり募集しても市場ニーズと合わない場合があるので、まず事業者ニーズを聞いた上で進めていくことを計画している。

##### 【委員】

花と緑のまちづくりセンターも、センターの中だけでなく、その周辺の一定の範囲を含めて整備するイメージか。

##### 【事務局】

その通りで、花と緑のまちづくりセンターについても、その付近の池の周辺も含めて整備していくことを考えている。

##### 【委員】

「(1) 保存整備に関する計画の検討」として、6項目が挙げられているが、どういう整備をするとしても、まず可能な限りの調査が行われないといけないと思うが、ここでは、調査のことがほとんど書かれていない。絵図、古文書等の文献資料がこれまでどのくらい確認されていて、今後、それ以外の資料をどのように探していくのかといったことが、ここにも書かれている必要がある。これまで分かっていることは、保存活用計画にも書かれているが、整備基本計画を検討する上でも、その概要は明らかにしておく必要がある。

また、資料にゾーンの区分が示されているが、その中に廃城前の城の範囲が書かれていない。公園内の標識で「明石城まで 500m、2分」等と書かれていたが、その標識の場所も元の城内である。それくらい元の城の範囲に対する意識が薄い。まずは、かつての城の範囲がどのようになっているか、廃城前の城の状況がどのようであったか、はっきりさせる必要がある。その上で、標識においても、かつての城の範囲の中で、今どこに居て、どういう魅力があるのかを示していく必要がある。

石垣を見せていくことは重要だが、それだけが城跡だと誤解されないようにする必要がある。遺構を顕在化するということも重要である。復元については、その後で考えればよいと思う。

#### 【委員】

私が感じたのは、石垣の問題は非常に重要だが、今の所、データが十分ではない。石垣カルテの問題もあるが、まずは現在残されているものを再確認する必要がある。カルテという言葉だけが先に行っているが、まずは、何が本物かをはっきりさせる、他の城と比べて、こういう所が面白い、貴重であるということを明確にする必要がある。

まず、江戸段階の明石城のプランを確認する必要がある。公園部分に居屋敷と呼ばれていた場所があるが、居屋敷とは城主が住んだ所である。明石城の場合、現在の石垣の下の区域に、居屋敷があった。そういう位置関係を明確にした上で計画を進めていくことが重要である。

カルテづくりよりも、今あるものを確認することが重要であり、これには時間がかかる。民間活力を入れるにしても、こちらから、そういうことを示さないと、民間にお任せになってしまうのは、筋が違うのではないかと思う。

#### 【委員】

明石公園は市民にとって非常に馴染みがある公園で、歴史的にも価値が高いものである。今まで明らかになっていない部分が解明されることに、歴史ファンも市民も期待していると思う。そういうことを市民、県民に知らしめていく場所が、今の明石には少ないと感じているので、その拠点をどうするかという課題がある。この博物館にも、明石城に関する展示があるが、十分ではない。歴史的な価値を、どのようにPRしていく、知らしめていくかということについて、一緒に考えていきたい。

私も、明石公園の近辺に住んでいて、普段から走ったり、子どもを連れてきたりしているが、明石公園には、市民にとっての生活の場という側面がある。公園と史跡の折り合いについては、両方大事にしたいと思うし、遠方から来られる方にとっても良い場所であってほしいと思う。そういう観点から、整備も大事であるし、分かっていない部分に関する調査も大事である。整備計画の中で、より歴史が分かり、またより使いやすい明石公園になるように、力を出していきたいと思う。

#### 【委員】

全国の城跡の中で、明石城跡は非常に特殊なものである。近世の城郭であるにも関わらず、大都市の中であって、これだけ開けた空間がある城はほとんど無い。その意味で非常に貴重な史跡である。しかし、具体的にどのような城だったのかということは、ほとんど分かっていない。そのことも、全国の城跡の中でも珍しいものである。

検討項目の中に「②明石城を体感できる整備の推進」ということが書かれており、それも大事だが、あまりにも分かっていない部分が多いので、まずは、発掘調査や文献調査をしていくことが重要である。明らかにした上で、現在は、復元整備は難しいと思うので、VR等の技術を使って昔の姿を示していくことを考えるべきである。他の城と比べて特殊な城であるということを踏まえて検討していく必要がある。

計画の検討項目のうちの「④訪問者の安心、安全に配慮した便益施設・園路などの整備の推進」に関しては、防犯的な見地も重要である。茂みがあって見通しがきかないと、防犯上危険になるので、植生の管理も重要な課題である。市民が安全に過ごせる環境を作ることが非常に大事である。

「⑥既存施設の移転等の検討」に関しては、史跡と関連がなく、魅力がない施設を移転する必要はあるが、役に立っているものは、直ちに移転ということにはならないと思う。一方で、小さな工作物をどうするかということについても、一つ一つ検討していく必要がある。現地視察でも、国旗掲揚台があったが、あの場所である必要はないので、移転を考えていく必要がある。また、大手門の高麗門の両袖石垣の上に灯籠があるが、あれは歴史的価値があるものなのかどうか、そうした点についても検討する必要がある。

それと、石垣の管理を指定管理者にして貰うという話があったが、今まであまり聞いたことがない新しい話である。上手くできればいいが、非常に難しいことだと思う。やるのであれば、この委員会でしっかり検討する必要がある。

**【委員】**

今まで感じたことがない観点からのご意見が多かったので、大変勉強になった。明石市内に月照寺というお寺があるが、元々明石城にあったものを移築したと聞いている。月照寺にもたくさんの資料が残されている。明石城の歴史については、分かっていることもあるが、深い歴史的な背景があって明石城が出来たということがあると思うので、そうしたことを子ども達に伝えていきたいと思う。明石城がいかに価値のあるものかを伝えていく必要があると思う。

**【委員】**

明石城は廃城前の姿を示すデータがほとんど無いという特徴がある。城が生きていた時代、また近代以降の歴史ももちろんあるが、まずその出発点をどの時代に置くか、ということが非常に大事だと思う。